

# 中央図書館長に就任して

農学部教授 竹内史郎



平成4年10月1日付で中央図書館長を拝命し就任いたしました。

大学図書館は、学生・教職員の情報需要に対応することを第一の業務とするサービス部門で、その対応をより迅速適確に遂行することを目指さねばなりません。しかし、中央図書館は、中に入りますと思ったより大きな部局で、就任以来一月近くを経ても、まだよく判らないというのが率直な感想です。そこで、中央図書館が近い将来に目指す変革改善の方向を記して、挨拶に代えさせていただきます。

その第一は図書館電算情報システムの導入計画です。周知のとおり、本学図書館の電算化は大変遅れてしまいましたが、いよいよ実施段階に入りました。すなわち、本年を初年度とする5年計画で近畿大学バージョンを完成しますが、第一段階で既存資料の目録検索システムを稼働させ、第二段階で貸出・返却システムが、また第三段階で収書管理、逐次刊行物管理、製本業務の諸システムが完成し、最後の第四段階で各学部間、部局間ネットワークシステムが稼働する計画です。図書

館の規模が大きく長期間を要しますが、遅れた分を高度化システムを目指すことで埋め合わせたいと願っています。

第二は中央図書館の拡張計画であります。文芸学部がEキャンパスに新校舎を建設して完全移転しますと、11号館の大半が図書館の拡張に利用できる計画です。現在の閲覧室は極めて手狭まで、とくに学生諸君に迷惑をかけていますが、その解決のために、この拡張計画を最大限に役立て、電算化と相まって利便性の高い図書館に改造したいと思います。

第三に、学生用図書選定実施要項の制定について述べます。この要項の全文は10月20日付学報所載のとおりですが、学生用図書の整備・充実を図ることを目的（第1条）としています。この業務は従来も学部教員からの推薦または学生からの購入希望申請などを通して行なわれていますが、これをより組織化し恒常化して学習図書館としての充実を図ります。先生方には選書委員の選任等、一層のご面倒をおかけしますが、図書館の充実のためお力添えをお願いいたします。

以上、現在中央図書館が直面する課題の一端を申しましたが、これらの業務を円滑、能率的に進めるには、利用者の具体的なご意見をお聞かせいただくのが最も有効であろうと存じます。図書館が利用者のあらゆる要望に適確に応じられ、かつ、図書館職員にとっても働き易い職場になることが最も肝要なことと考えます。そのために非才に鞭打って努力を惜しまぬ所存でありますので、何とぞ宜しく御援助下さるようお願い申し上げ就任挨拶といたします。